

ディーラーマニュアル

Nexus

Inter-8
Inter-7
Inter-5

目次

ディーラーマニュアル対応モデル一覧	4
重要なお知らせ	5
安全のために	6
使用工具一覧	11
取付け	13
スプロケットのハブへの取付け	13
■ 7段ハブ、5段ハブ	13
■ 8段ハブ	13
カセットジョイントのハブへの取付け	14
■ 7段ハブ	14
■ 8段ハブ、5段ハブ	15
インターMブレーキのハブ本体への取付け	16
ハブのフレームへの取付け	17
ディスクブレーキローターの取付け	20
■ センターロックタイプ	20
■ 5本ボルト留めタイプ (ロックワッシャー付き)	21
レバーの取付け	22
■ モード切替え機能がある場合	22
■ レバーの取付け	23
変速用ケーブルの取付け	24
カセットジョイントへの取付け	24
■ CJ-NX10/CJ-8S20の場合	24
■ CJ-NX40/CJ-8S40の場合	28
調整	34
カセットジョイントの調整方法	34
メンテナンス	38
フレームから後車輪を取外す時の変速用ケーブルのはずし方	38
■ CJ-NX10/CJ-8S20の場合	38
■ CJ-NX40/CJ-8S40の場合	39
インナーケーブルの交換	41
■ レボシフトレバー	41
■ RAPIDFIRE Plus シフティングレバー	44

インジケータユニットの交換と組立.....	45
■ 取外し	45
■ 取付け	45
内部一式ユニットのオイルメンテナンス	46

ディーラーマニュアル対応モデル一覧

このディーラーマニュアルは以下のモデルを対象としております。

部品／シリーズ		Inter-8	Inter-7	Inter-5
 内装ハブギア	コースターブレーキ + ディスクブレーキ	SG-C6000-8CD	-	-
	ディスクブレーキ	SG-C6000-8D	-	-
	コースターブレーキ	SG-C6000-8C SG-8C31	SG-C3000-7C SG-7C30	-
	インターMブレーキ	SG-C6010-8R SG-C6000-8R SG-8R31 SG-8R36	SG-C3000-7R SG-7R50	SG-5R30 SG-5R35
	Vブレーキ	SG-C6010-8V SG-C6000-8V SG-8R31-VS SG-8R36-VS	-	SG-5R30-VS SG-5R35-VS
 シフティングレバー	RAPIDFIRE Plus シフティングレバー	-	SL-7S50	SL-5S50
 シフティングレバー	レボシフトレバー	SL-8S31 SL-8S30 SB-8S20-A	SL-7S31 SL-7S30 SB-C3000-7	SL-5S30
カセットジョイント		CJ-8S40 CJ-8S20	CJ-NX40 CJ-NX10	CJ-8S40 CJ-8S20

重要なお知らせ

- ディーラーマニュアルは自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方を対象としています。専門知識のないユーザーがディーラーマニュアルを参照して、部品を取付けないでください。記載されている内容に不明な点がある場合は絶対にご自身で作業しないでください。購入された販売店、または代理店へご相談ください。
- 各製品に付属している取扱説明書も併せてよくお読みください。
- ディーラーマニュアルに書かれていない製品の分解、改造はおこなわないでください。
- 全てのマニュアル・技術資料はウェブサイト <https://si.shimano.com> でご覧いただけます。
- インターネットのご利用が難しいお客様から、印刷されたユーザーマニュアルを問い合わせいただく場合があります。シマノ代理店またはシマノ営業所に印刷版のユーザーマニュアルをお申し付けください。
- 地域のルールや法律に従って製品をご使用ください。

安全のため、必ずこのディーラーマニュアルをよくお読みの上、正しくご使用ください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

安全のために

警告

- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書などに示している指示を守ってください。
その際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルトやナットなどが緩んだり、破損しますと突然に転倒して重傷を負う場合があります。
また、調整が正しくない場合、不具合が発生し、突然に転倒して重傷を負う場合があります。

-  部品の交換など、メンテナンス作業中は、安全メガネまたはゴーグルを着用し、眼を保護してください。

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

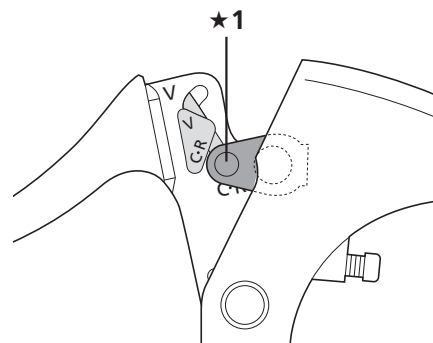
- 自転車は、製品によって取扱いが多少異なることがあります。
したがって、ブレーキレバーへの入力や自転車の操作特性などを含め、個々の自転車のブレーキ系統の適切な操作を充分理解し慣れるようにしてください。ブレーキ系統の操作が適切でないと自転車のコントロールを失い、転倒して大けがをする可能性があります。適切な操作については、自転車専門店にご相談いただき、また自転車の取扱説明書もよくお読みください。ご自分の自転車にお乗りになって、ブレーキ操作などを練習していただくことも大切です。
- ブレーキレバーには、カンチレバーブレーキ・ローラーブレーキまたはパワーモジュレーター付Vブレーキに対応するモード切替がついています。(SB-8S20-A / SB-C3000-7はローラーブレーキまたはパワーモジュレーター付Vブレーキに対応しています。カンチブレーキには対応していませんので注意してください。)

このモード選択を誤った場合、極端な効きすぎや制動力不足をひき起こす可能性があります大変危険です。

図に従いモード選択を実施してください。

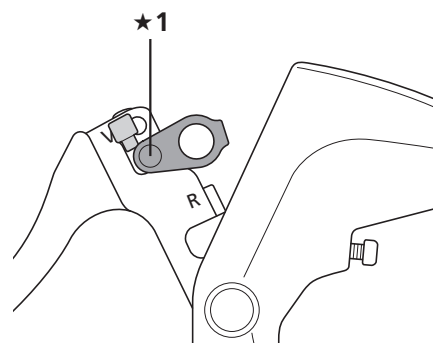
モード切替え付ブレーキレバーは、図の組合わせでご使用ください。

対応ブレーキ本体：
カンチレバーブレーキ
ローラーブレーキ



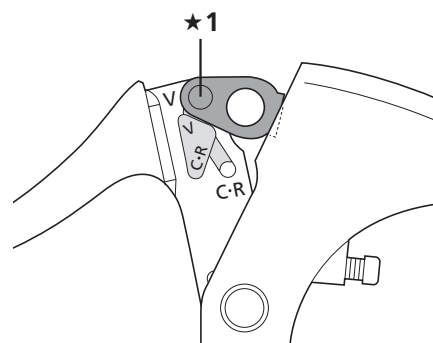
★1 C・Rの位置
C：カンチレバーブレーキ対応モード
R：ローラーブレーキ対応モード

対応ブレーキ本体 (SB-8S20-A / SB-C3000-7の場合)：
ローラーブレーキ



★1 Rの位置
R：ローラーブレーキ対応モード

対応ブレーキ本体：
パワーモジュレーター付Vブレーキ



★1 Vの位置
V：パワーモジュレーター付Vブレーキ対応モード

- 乗車前に車輪が固定されていることを確認してください。
転倒して大けがをすることがあります。

自転車への組付け、整備に関する事項

- ブレーキアームをフレームに固定するときは、チェーンステーのサイズに合ったアームクリップをクリップボルトとクリップナットで指定の締付けトルクでしっかりと締付けてください。

クリップナットは、ナイロンインサートロックナット（緩み止めナット）を使用してください。クリップボルト、クリップナットおよびアームクリップはシマノ製をお勧めします。

ブレーキアームのクリップナットが外れたり、クリップボルトまたはアームクリップが破損すると、ブレーキアームが回転し突然ハンドルがとられたり、車輪がロックして転倒し大けがをすることがあります。

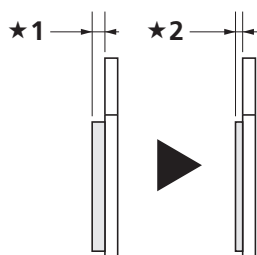
- フレームにハブを取付けるときは、所定の回り止めワッシャーを必ず左右に取付け、ハブナットを規定トルクで確実に締付けて固定してください。回り止めワッシャーを片側だけしか取付けなかったり、ハブナットの締付けが不完全であると、回り止めワッシャーが外れてハブ軸が回転し、カセットジョイントが回り、不意にハンドルが変速ケーブルで引張られて回るなど、重大事故につながるものになります。

ディスクブレーキローターに関して

- 回転中のディスクブレーキローターには触れないでください。ディスクブレーキローターに指が巻き込まれるなど、重傷を負うおそれがあります。



- キャリパー、ディスクブレーキローターはブレーキ操作により高温になりますので、乗車中、あるいは下車後すぐに触れないでください。やけどを負うおそれがあります。
- ディスクブレーキローター、ブレーキパッドに油脂が付かないように注意してください。ブレーキが効かなくなって危険です。
- パッドに油脂が付いた場合は販売店または代理店へご相談ください。ブレーキが効かなくなって危険です。
- ブレーキ操作時に音が発生したらパッドが使用限界まで摩耗した可能性があります。ブレーキシステムの温度が十分に下がったことを確認してから、パッドの厚みが0.5 mm以上あることを確認してください。または販売店、代理店へご相談ください。



★1 2 mm

★2 0.5 mm

- ディスクブレーキローターに割れ、変形が生じた場合はただちに使用を中止し、販売店または代理店へご相談ください。
- ディスクブレーキローターが摩耗して厚みが1.5 mm以下になるかアルミ面が出てきた場合、ただちに使用を中止し販売店または代理店へご相談ください。ディスクブレーキローターが破損し転倒する可能性があります。

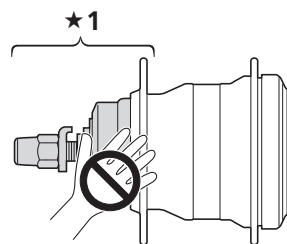
コースターブレーキハブに関して

- 正爪のフォークエンドを使用する際は、チェーンの緩み防止のため、チェーン引きをご使用ください。

⚠ 注意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- シフティングレバーは必ず1段ずつ変速操作してください。その際、ペダルの踏力は弱い状態で行ってください。強くペダルを踏んでいる時に、無理やりシフティングレバーを操作したり、一気に多段変速したりすると、足がつかずペダルから足を踏み外し、転倒事故につながる可能性があります。また、シフティングレバーを軽いギアへ一気に変速させるとアウターケーシングがシフティングレバーから飛び出す場合があります。変速が終わると元に戻りますので機能への影響はありません。
- ブレーキをひんぱんに使用した場合、ブレーキ部周辺が高温になる場合があります。走行後しばらく（30分位）は、ブレーキ部周辺に手をふれないよう注意してください。



★1 ブレーキ部周辺

コースターブレーキ仕様に関して

- 長い下り坂でブレーキを連続して使用されると、ブレーキ内部が高温になりブレーキの効きが弱くなったり、内部のグリスがなくなりブレーキの効きが急に強くなるなどの異常が発生する場合があります。
- ならし走行をして、コースターブレーキの制動力の確認をしてください。

使用上の注意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- ペダルを軽く踏みながら変速ができますが、変速したあとで確実な変速動作のため、ハブ内部の爪とラチェットの間でまれに音が発生する場合があります。
- 内装ハブは完全防水ではありません。ハブが浸水するような場所での使用、高圧洗浄は内部の錆の原因となりますのでお控えください。
- ハブの分解は行わないでください。分解が必要だと思われる場合は購入された販売店にご相談ください。
- 下記の現象はいずれも内部変速構造によるものであり、内部の故障ではありません。

発生する現象	ハブの 段数	ハブの種類		発生する ギア位置
		コースターブレーキ用	ローラーブレーキ/ Vブレーキ用	
足をペダルに置いて自転車をバックさせると、足にコツコツ感じる。	7段ハブ	×	-	全速
ペダルを回転している時に音が発生する。	7段ハブ	×	-	全速
		-	×	2, 3, 4, 5, 6, 7速
	8段ハブ	×	-	1速以外の全速
自転車をうしろに押した場合に音が発生する。	8段ハブ	×	×	5, 6, 7, 8速
変速をサポートする機構が内蔵されており、変速時にサポート機構が動いた場合音や振動が発生する。	8段ハブ	×	×	全速
ギアの位置によって変速の感触が違う場合がある。	7段ハブ	×	×	全速
	8段ハブ	×		
	5段ハブ	-		
走行中にペダルの回転を止めると音が発生する。	7段ハブ	×	×	全速
	8段ハブ	×	-	
	5段ハブ	-	×	4, 5速

- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。

コースターブレーキ仕様に関して

- 車輪の回転が重くなった場合は、ブレーキシューの交換またはグリスアップが必要です。購入された販売店にご相談ください。

自転車への組付け、整備に関する事項

- カセットジョイントには、16T～23Tまでのスプロケットをご使用ください。
- フロントのチェーンリングギア比の設定は下記を推奨します。
7段、8段：約2.1
5段：約2.0

例) 26インチの車輪の場合

フロント		36T	38T	46T
リア	7段、8段	16T	18T	22T
	5段	18T	19T	23T

- 製品の性能を維持するために、使用開始から1年間に一度（頻繁に乗車される場合は2,000 kmごと）を目安に、販売店または代理店で、内部のグリスアップなどのメンテナンスを推奨します。厳しい使用条件下で乗車する場合も、より頻繁なメンテナンスが必要になります。またメンテナンスの際は、シマノ内装ハブ専用グリスまたは、オイルキットを推奨します。専用グリス・オイルキットを使用されない場合、変速機が正常に作動しないなどのトラブルの原因となる可能性があります。
- 車輪の回転が重くなった場合は、グリスアップを行ってください。
- ギアは定期的には中性洗剤で洗浄してください。またチェーンを中性洗剤で洗浄し注油することも、ギアおよびチェーンの寿命を延ばす効果があります。
- チェーン飛びが発生するようになった場合は、ギアとチェーンを交換してください。

コースターブレーキ仕様に関して

- スポークは、6本組または8本組で編まれた車輪を使用してください。ラジアル組の車輪は使用できません。スポークや車輪の破損またはブレーキ時に音鳴りの発生するおそれがあります。
- 車輪の回転が重くなった場合は、ブレーキシューの交換またはグリスアップを行ってください。
- ブレーキシューには専用グリスのみを使用し、オイルキット使用の際には、ブレーキシューを外して、オイルがつかないようにご注意ください。

手順の説明を主体としていますので、製品イメージが異なる場合があります。

使用工具一覽

使用工具一覧

製品の取付け、調整、メンテナンスには下記の工具が必要です。

工 具		工 具		工 具	
	2 mm六角レンチ		プラスドライバー[#1]		モンキレンチ
	3 mm六角レンチ		プラスドライバー[#2]		TL-CJ40 (Y70898020)
	5 mm六角レンチ		TL-LR10		
	10 mmスパナ		ヘキサロビュラ[#25]		

取付け

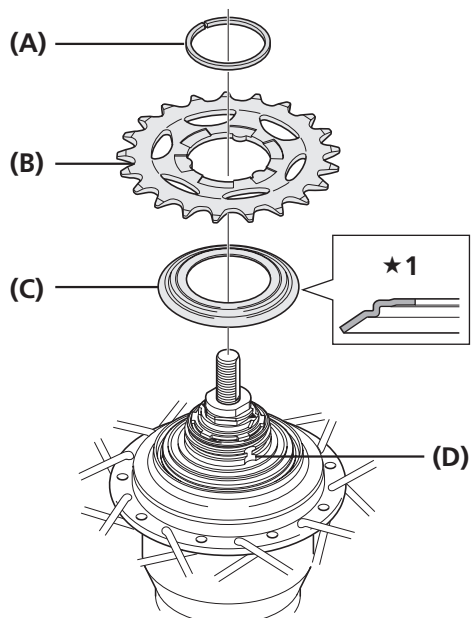
取付け

スプロケットのハブへの取付け

■ 7段ハブ、5段ハブ

1. 右防水キャップをハブ本体右側の駆動体に取り付けます。次にスプロケットをセットし、スナップリングで固定します。

仕 様	対応スプロケット	
	表組	裏組
7段	16T-23T	18T-23T
5段	16T-23T	



★1 方向に注意

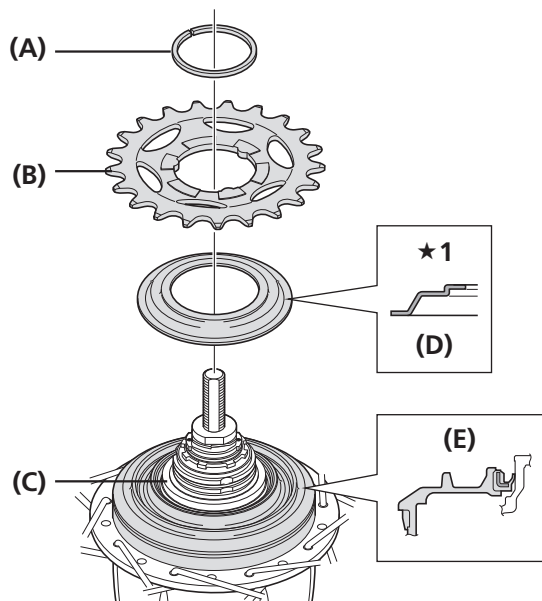
- (A) スナップリング
(B) スプロケット
(C) 7段：右防水キャップC
5段：右防水キャップD
(D) 駆動体

■ 8段ハブ

A仕様の場合

1. 右防水キャップCをハブ本体右側の駆動体に取り付けます。次にスプロケットをセットし、スナップリングで固定します。

仕 様	対応スプロケット	
	表組	裏組
A	16T-23T	20T-23T



★1 方向に注意

- (A) スナップリング
(B) スプロケット
(C) 駆動体
(D) 右防水キャップC
(E) 右防水キャップA

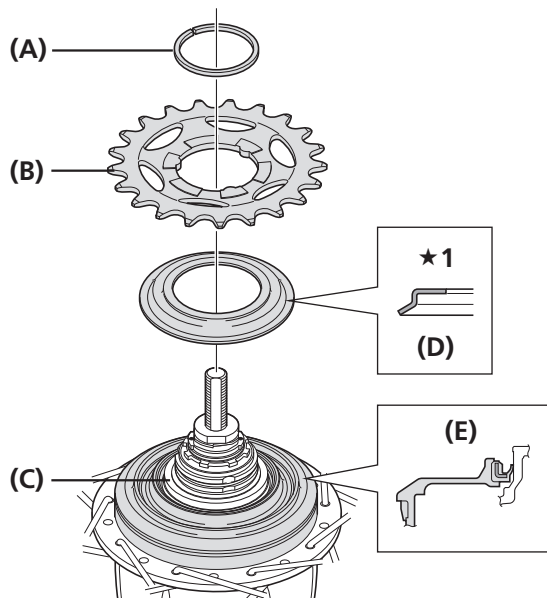
注 意

スプロケットが19T以下で裏組およびベルト仕様の場合は、チェーンまたはプーリーが右防水キャップAと接触しますので、B仕様を使用してください。

B仕様の場合

1. 右防水キャップBをハブ本体右側の駆動体に取り付けます。次にスプロケットをセットし、スナップリングで固定します。

仕 様	対応スプロケット	
	表組	裏組
B	16T-23T	



★1 方向に注意

- (A) スナップリング
- (B) スプロケット
- (C) 駆動体
- (D) 右防水キャップB
- (E) 右防水キャップA

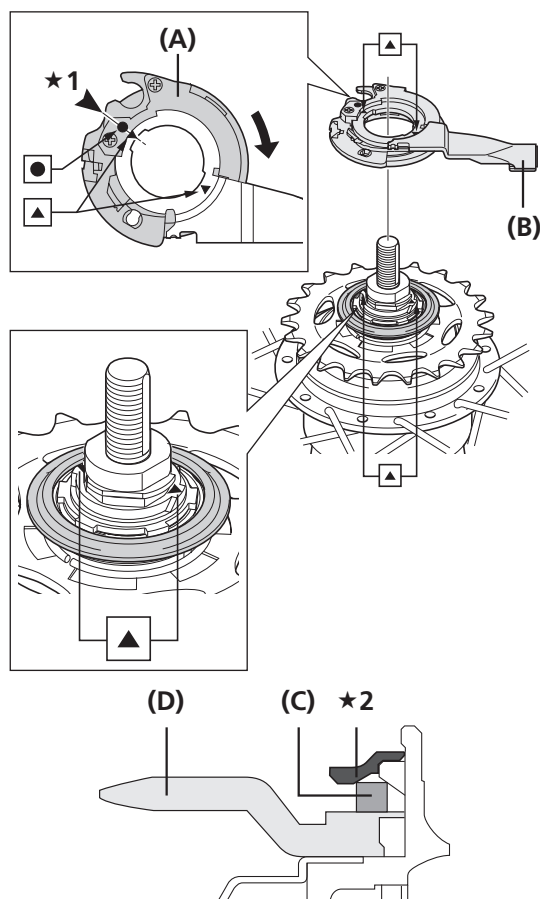
注 意

スプロケットが16T/3 mm歯で裏組およびベルト仕様の場合は、右防水キャップBを外して使用してください。

カセットジョイントのハブへの取付け

■ 7段ハブ

1. 駆動体キャップをハブ本体右側の駆動体に取り付けます。次にカセットジョイントのプーリーを矢印の方向に回し、●マーク (黄色) と▲マーク (黄色) を一致させた状態で、カセットジョイントの▲マーク (黄色) をハブ本体右側の▲マーク (黄色) に合わせてセットします。

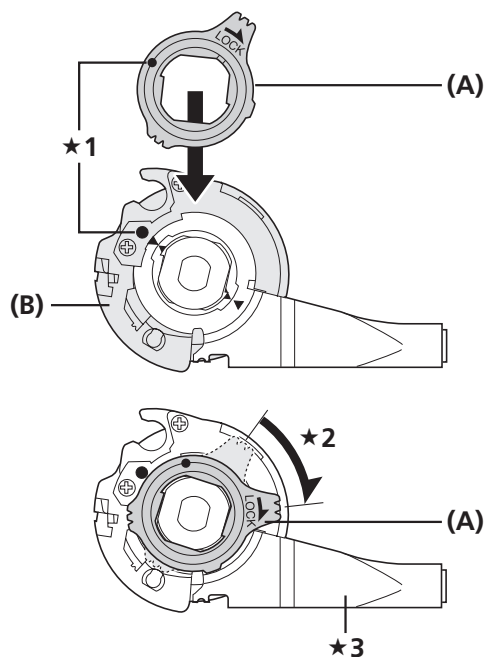


★1 一直線

★2 駆動体キャップは、この位置に取付けます。

- (A) プーリー
- (B) カセットジョイント
- (C) スナップリング
- (D) スプロケット

2. カセットジョイント固定リングで、カセットジョイントをハブ本体に固定します。カセットジョイント固定リングの取付けは、黄色の●マークをカセットジョイントのプーリーの黄色の●マークに合わせて入れ、カセットジョイント固定リングを45° 時計方向に回します。



★1 黄色の●マークを合わせて入れる。

★2 45°まわす

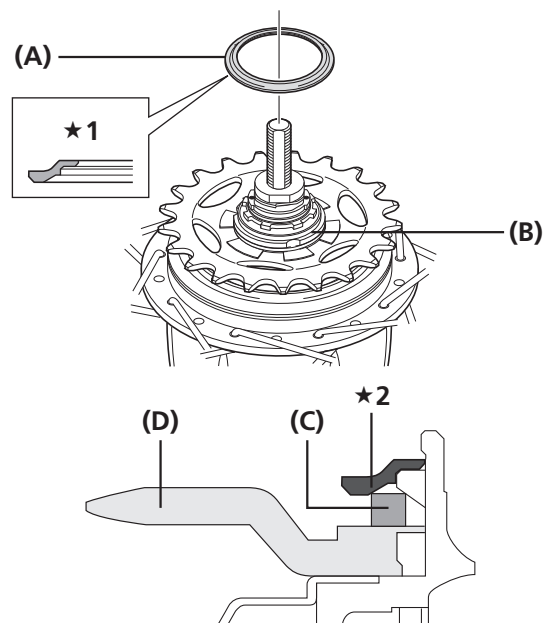
★3 カセットジョイントのブラケットをしっかり押え付けます。

(A) カセットジョイント固定リング

(B) プーリー

■ 8段ハブ、5段ハブ

1. 駆動体キャップをハブ本体右側の駆動体に取り付けます。



★1 方向に注意

★2 駆動体キャップは、この位置に取り付けます。

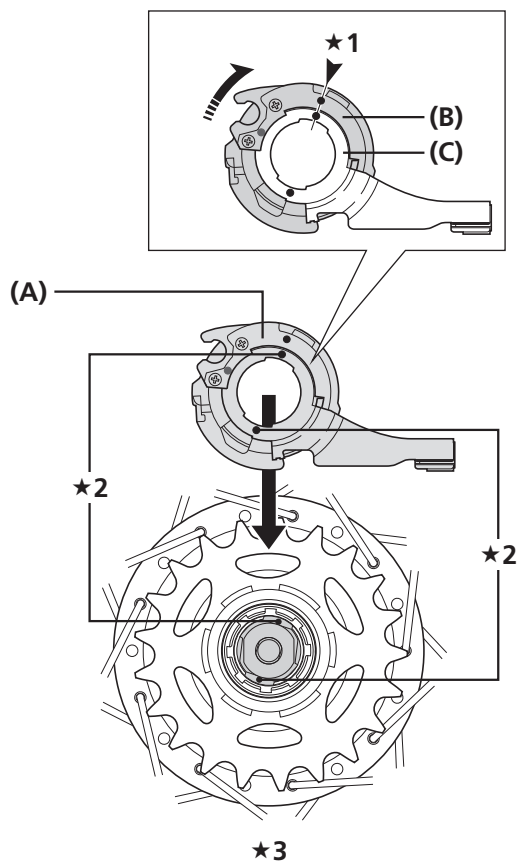
(A) 駆動体キャップ

(B) 駆動体

(C) スナップリング

(D) スプロケット

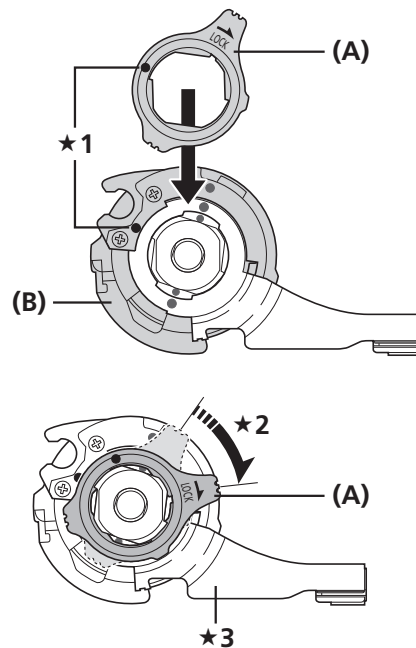
2. カセットジョイントのプーリーを矢印の方向に回し、プーリーとブラケットの●マーク (赤色) を一致させた状態で、カセットジョイントの●マーク (赤色) をハブ本体右側の●マーク (赤色) に合わせてセットします。



- ★1 一直線
★2 赤色の●マークを合わせて入れる。
★3 ハブ本体右側

- (A) カセットジョイント
(B) プーリー
(C) ブラケット

3. カセットジョイント固定リングで、カセットジョイントをハブ本体に固定します。カセットジョイント固定リングの取付けは、黄色の●マークをカセットジョイントのプーリーの黄色の●マークに合わせて入れ、カセットジョイント固定リングを45°時計方向に回します。

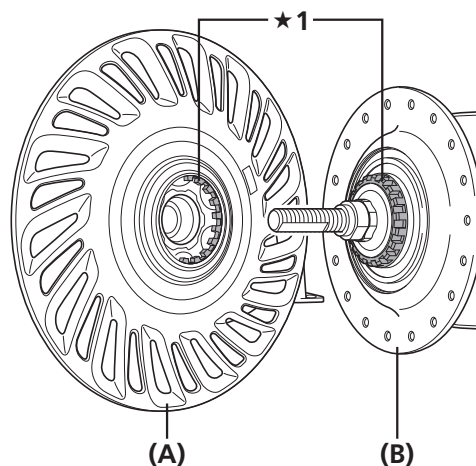


- ★1 黄色の●マークを合わせて入れる。
★2 45°まわす
★3 カセットジョイントのブラケットをしっかり押え付けます。

- (A) カセットジョイント固定リング
(B) プーリー

インターMブレーキのハブ本体への取付け

1. ハブ本体のセレーションと、インターMブレーキのセレーションを勘合させ、ブレーキ取付けナットを仮止めします。

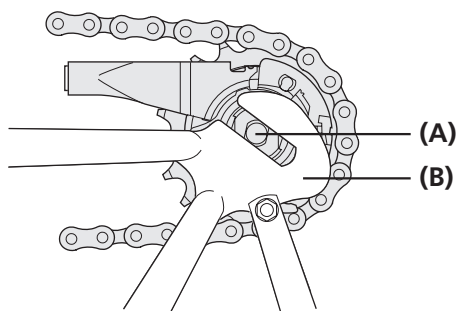


- ★1 セレーションを合わせる

- (A) インターMブレーキ
(B) ハブ本体

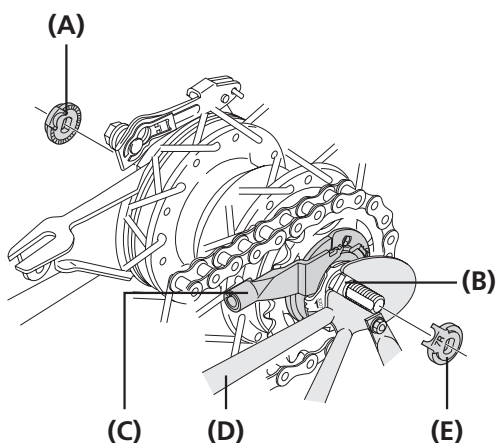
ハブのフレームへの取付け

1. チェーンをスプロケットに掛け、ハブ軸をフォークエンドにセットします。



- (A) ハブ軸
(B) フォークエンド

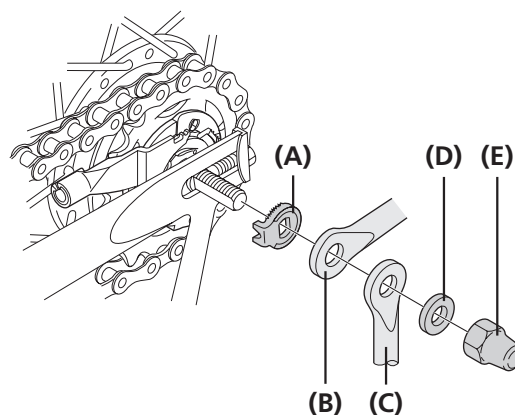
2. ハブ軸の右側と左側に回り止めワッシャーをセットします。このとき、フォークエンドの溝に、回り止めワッシャーの突起部が入るように、カセットジョイントを回し、チェーンステアとほぼ平行に取付けます。



- (A) 回り止めワッシャー (左用)
(B) フォークエンドの溝
(C) カセットジョイント
(D) チェーンステア
(E) 回り止めワッシャー (右用)

注 意

ハブ軸に泥よけステーなどを取付けるときは、下図の順にセットします。



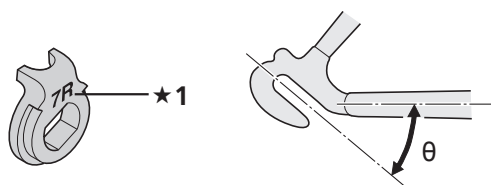
- (A) 回り止めワッシャー
(B) 泥よけステー
(C) キャリアステー
(D) 菊花座
(E) 袋ナット

TECH TIPS

- 回り止めワッシャーは、フォークエンドの形状にあったものをご使用ください。
なお回り止めワッシャーには、それぞれ右用と左用があります。

フォークエンド	回り止めワッシャー		
	刻印/カラー		サイズ
	右用	左用	
逆爪	5R/イエロー	5L/ブラウン	$\theta \leq 20^\circ$
	7R/ブラック	7L/グレー	$20^\circ \leq \theta \leq 38^\circ$
正爪	6R/シルバー	6L/ホワイト	$\theta = 0^\circ$
正爪 (全ケース)	5R/イエロー	5L/ブラウン	$\theta = 0^\circ$
ストレートドロップ	8R/ブルー	8L/グリーン	$\theta = 60^\circ - 90^\circ$

注意：ストレートドロップ：コースター仕様は除く

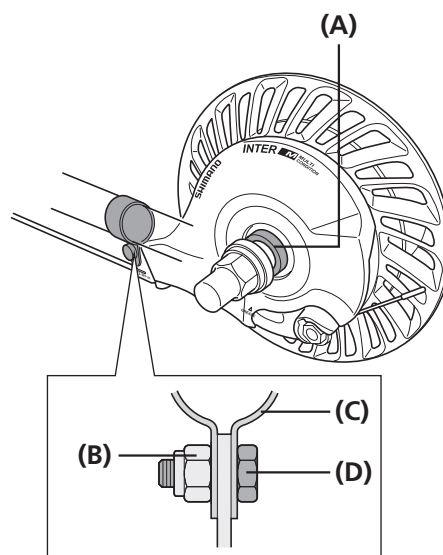


★1 刻印

- 突起部をフォークエンド側にセットします。
- 突起部をフォークエンドの溝に確実に入るように、ハブ軸の前側または後側に入れます。

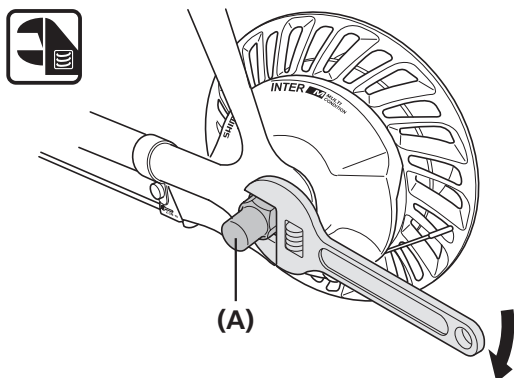
インターMブレーキ仕様の場合

- インターMブレーキのブレーキアームを、アームクリップでチェーンステーに取付けます。
その後、クリップボルトとクリップナットを軽く締めて仮止めします。
- ハブナットが袋ナットの場合は、フォークエンドの幅が7 mm以上あるフレームをご使用ください。
- ブレーキユニットが、ハブ本体にブレーキ取付ワッシャーで確実に固定されていることを確認してください。



- (A) ブレーキ取付ワッシャー (手で挿入)
(B) クリップナット
(C) アームクリップ
(D) クリップボルト (M6×16 mm)

3. チェーンのたるみを取り、車輪をフレームに袋ナットで確実に固定します。



(A) ハブナット

締付けトルク

モンキレンチ

30 - 45 N・m

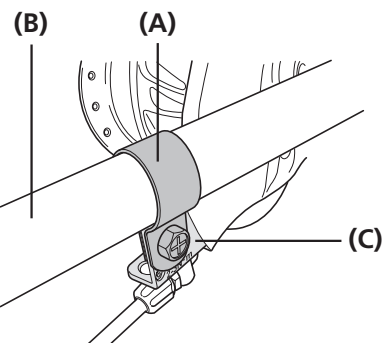
注 意

車輪がフレームに、ハブナットで確実に固定されていることを確認してください。

4. ブレーキアームを、チェーンステーにアームクリップで確実に固定します。

ブレーキアームが、アームクリップでチェーンステーにしっかりと固定されていることを確認してください。取付け不良は、ブレーキ性能が悪くなります。

- ブレーキアームに無理な力を加えて固定すると、音鳴りがしたり車輪の回転が重くなります。取付けのときは、充分注意してください。



(A) アームクリップ

(B) チェーンステー

(C) ブレーキアーム

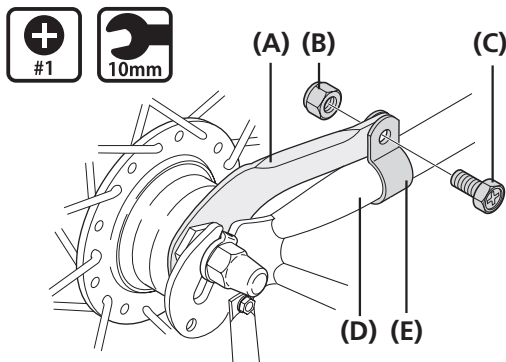
締付けトルク

プラスドライバー[#1]

10 mmスパナ

2 - 3 N・m

コースターブレーキ仕様の場合



- (A) ブレーキアーム
- (B) クリップナット
- (C) クリップボルト
- (D) チェーンスター
- (E) アームクリップ

締付けトルク

プラスドライバー[#1]
10 mmスパナ
2 - 3 N・m

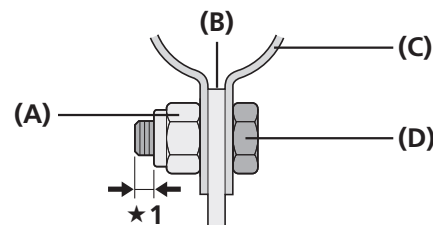
⚠ 警告

ブレーキアームをフレームに固定するときは、チェーンスターのサイズに合ったアームクリップをクリップボルトとクリップナットで指定の締付けトルクでしっかりと締付けてください。

クリップナットは、ナイロンインサートロックナット（緩み止めナット）を使用してください。クリップボルト、クリップナットおよびアームクリップはシマノ製をお勧めします。ブレーキアームのクリップナットが外れたり、クリップボルトまたはアームクリップが破損すると、ブレーキアームが回転し突然ハンドルがとられたり、車輪がロックして転倒し大けがをすることがあります。

注 意

- アームクリップを取付けるときは、クリップナットを10 mmスパナで固定し、クリップボルトを確実に締付けてください。
- アームクリップを取付けた後、クリップボルトがクリップナットの端面から約2～3 mm出ていることを確認してください。



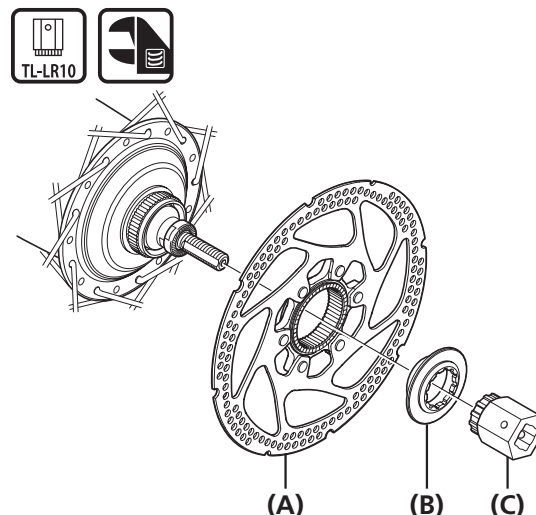
★1 2～3 mm

- (A) クリップナット
- (B) ブレーキアーム
- (C) アームクリップ
- (D) クリップボルト (M6×16 mm)

- ご使用になる前に、ブレーキの効きおよび車輪がスムーズに回ることを必ず確認してください。

ディスクブレーキローターの取付け

■ センターロックタイプ



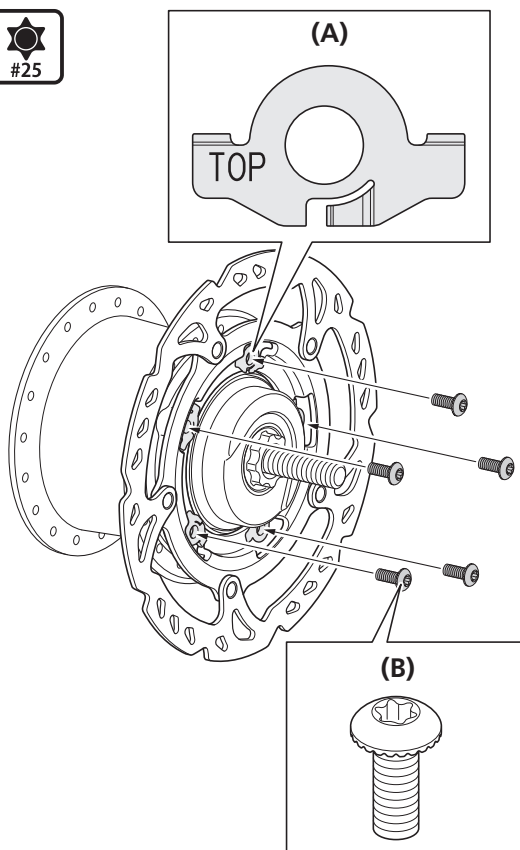
- (A) ディスクブレーキローター
- (B) ディスクブレーキローター取付けロックリング
- (C) TL-LR10

締付けトルク

TL-LR10
モンキレンチ
40 N・m

■ 5本ボルト留めタイプ (ロックワッシャー付き)

1. ディスクブレーキローターとディスクブレーキローターロックワッシャーをハブに取付け、ボルトを取付けて締付けます。



(A) ロックワッシャー

(B) ディスクブレーキローター取付けボルト

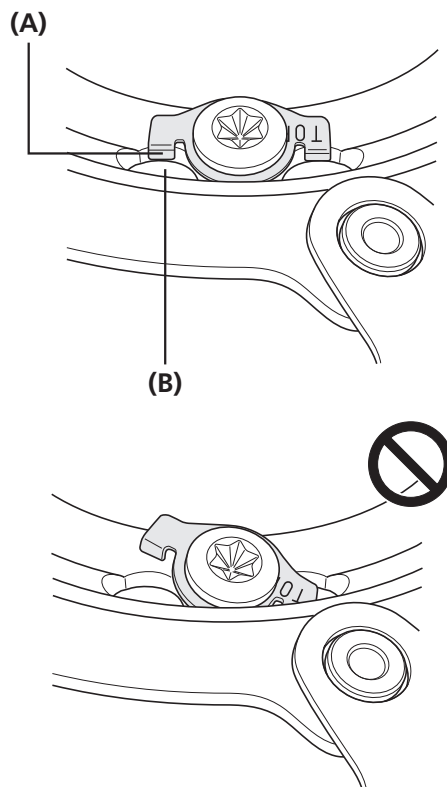
締付けトルク

ヘキサロビュラ[#25]

2 - 4 N・m

注 意

- ロックワッシャーは、「TOP」の文字が見えるように取付けてください。
- ロックワッシャーの折り部がディスクブレーキローターの切り欠き部にしっかり掛かっていることを確認し、ディスクブレーキローター取付けボルトを締付けてください。ディスクブレーキローターの板面に折り部が乗ったまま締付けると、折り部やロックワッシャーの変形の原因となります。

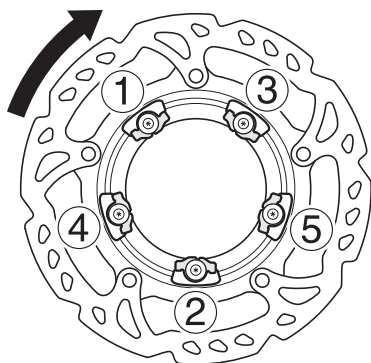


(A) ロックワッシャー折り部

(B) ディスクブレーキローターの切欠き部

- ロックワッシャーは再利用できません。ディスクブレーキローターを取付ける際は、新品を使用してください。
- 専用のディスクブレーキローター取付けボルトを使用してください。

2. 手袋を着用して、ディスクブレーキローターに力をかけて時計方向に回します。このとき、ディスクブレーキローター取付けボルトを図示の順序で締付けます。



レバーの取付け

■ モード切替え機能がある場合

1. プラスドライバー[#1]を使ってネジをゆるめます。



2. モード切替えを取付けるブレーキの位置に合わせます。



TECH TIPS

V-BRAKEの場合



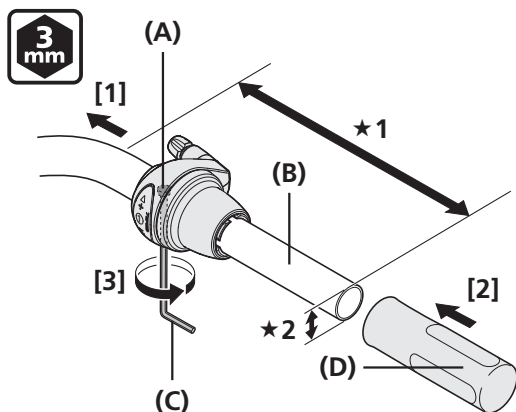
キャリパーブレーキ/カンチレバーブレーキ/
ローラーブレーキの場合



■ レバーの取付け

図のようにレバーをセットします。

レボシフトレバーの場合



★1 166 mm～

★2 Ø22.2 mm

(A) 取付けボルト

(B) ハンドルバー

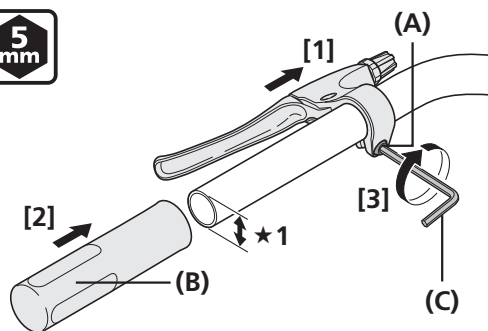
(C) 3 mm六角レンチ

(D) ハーフグリップ

締付けトルク

3 mm六角レンチ

2 - 2.5 N·m



★1 Ø22.2 mm

(A) 取付けボルト

(B) グリップ

(C) 5 mm六角レンチ

締付けトルク

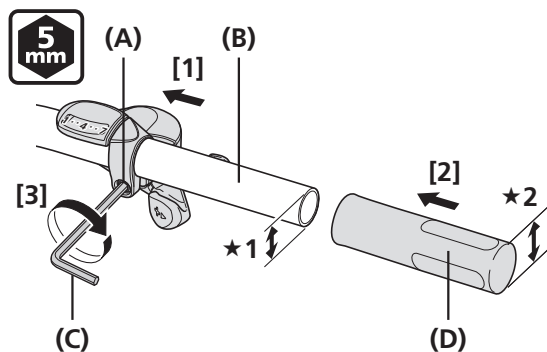
5 mm六角レンチ

6 - 8 N·m

TECH TIPS

- シマノハーフグリップを使用の場合は、ハンドルバーのストレート部が166 mm以上あること。
なお、レボシフトレバーはこのストレート部にセットします。
- レボシフトレバーとハーフグリップの間に、0.5 mmのすき間をあけます。

RAPIDFIRE Plusの場合



★1 Ø22.2 mm

★2 ~Ø32 mm

- (A) 取付けボルト
- (B) ハンドルバー
- (C) 5 mm六角レンチ
- (D) グリップ

締め付けトルク

5 mm六角レンチ

5 - 7 N・m

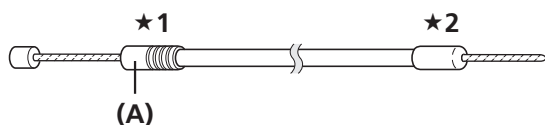
TECH TIPS

ハンドルグリップは最大外径がØ32 mm以下のものをご使用ください。

変速用ケーブルの取付け

インナーケーブルの交換方法はメンテナンスの項目を参照ください。

* 変速用ケーブルは、片エンドケーブルをご使用ください。
片エンドケーブル：OT-SP41



★1 シフティングレバー側

★2 カセットジョイント側

- (A) シールドアウターキャップ

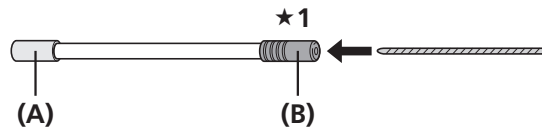
注 意

シフティングレバー側に、必ずシールドアウターキャップがくるようにしてください。

カセットジョイントへの取付け

■ CJ-NX10/CJ-8S20の場合

1. インナーケーブルをOT-SP41アウターケーシングの樹脂キャップ側に通します。



★1 レバー側

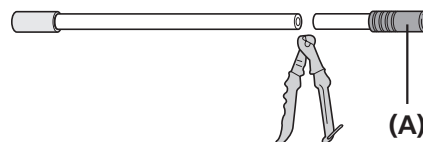
- (A) アルミキャップ

- (B) 樹脂キャップ

TECH TIPS

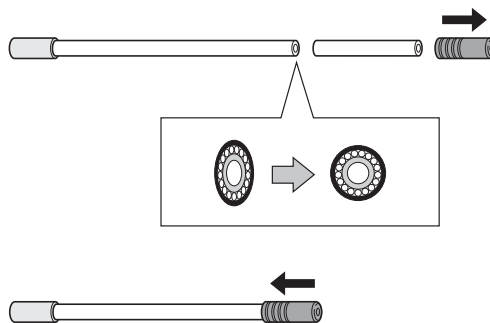
アウターケーシングの切断

もし、アウターケーシングを切断する場合は、樹脂キャップ側をキャップを付けた状態で切断します。

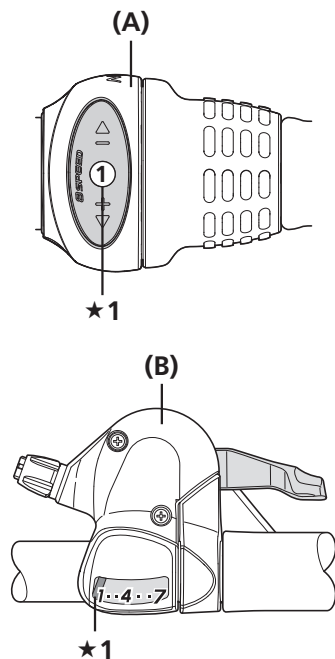


- (A) 樹脂キャップ

その後、切断面を真円に整え、樹脂キャップを取付けます。



2. レボシフトレバー/シフティングレバーを1にセットします。



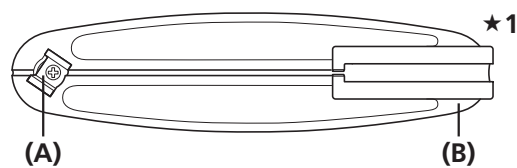
★1 1にセット

- (A) レボシフトレバー
(B) RAPIDFIRE Plus シフティングレバー

3. アウターケーシングの端が、レボシフトレバー/シフティングレバーのケーブル調整ボルトに確実に納まっていることを確認した後、インナーケーブルに、インナー固定ボルトユニットを取付けます。
インナー取付けボルトユニット取付けの際はセッティングツールTL-CJ40 (Y70898020) をご使用ください。
CJ-NX10、CJ-8S20の場合はTL-CJ40の表側を使用してください。

注意

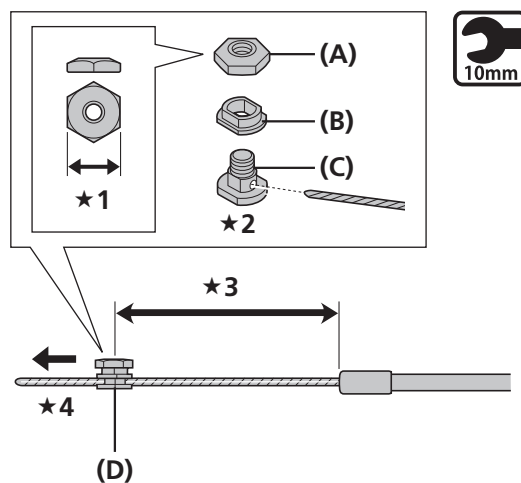
- 工具の出荷状態はCJ-NX10、CJ-8S20用に設定しています。



★1 表面

- (A) ナット固定金具
(B) TL-CJ40

- このインナー取付けボルトユニットは、CJ-NX10、CJ-NX40、CJ-8S20、CJ-8S40専用です。11段の取付けボルトユニットは使用できません。



- ★1 10 mm
★2 インナーケーブルを穴に通す。
★3 101 mm
★4 インナーケーブルを引張った状態で固定します。

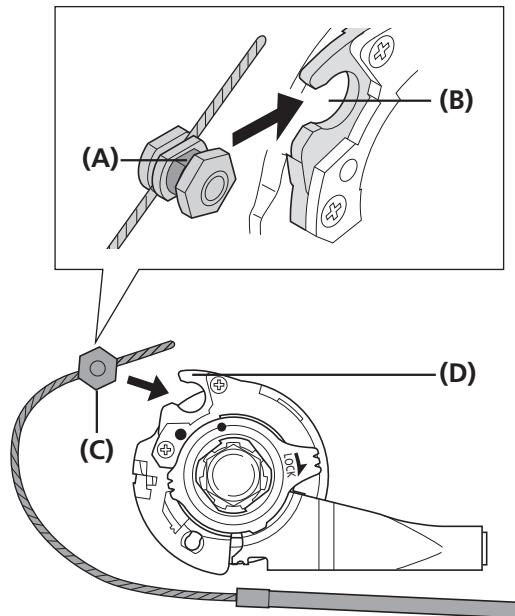
- (A) インナー固定ナット (黒色)
(B) インナー取付けワッシャー (シルバー)
(C) インナー取付けボルト (シルバー)
(D) インナー取付けボルトユニット

締付けトルク

10 mmスパナ

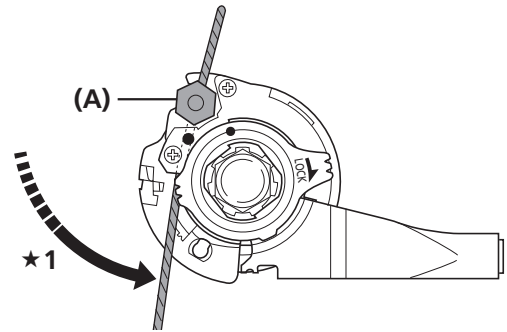
3.5 - 5.5 N・m

4. ケーブルをカセットジョイントのプーリーまで回し、インナー取付けナットを外側（フォークエンド側）に向け、プーリーの切欠き部に、インナー取付けワッシャーの二面幅部を入れます。



- (A) インナー取付けワッシャーの二面幅
(B) プーリーの切欠き部
(C) インナー取付けナット
(D) プーリー

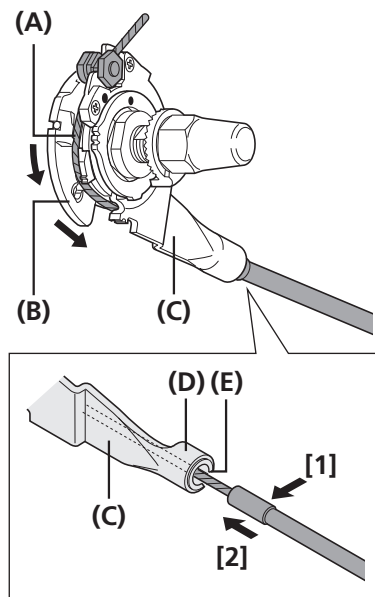
5. ケーブルを反時計方向に60°回して、フック部にセットします。



★1 ケーブルを60°回す

(A) フック部

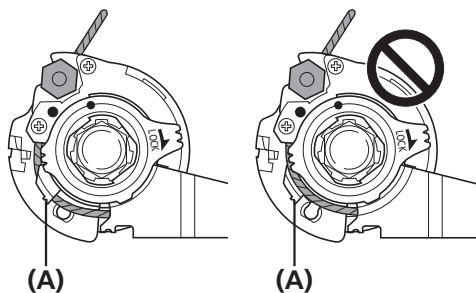
6. インナーケーブルをプーリーに図のようにセットし、カセットジョイントのブラケットのスリットにインナーケーブルを入れ、アウターケーシングをアウター受けに確実にセットします。



- (A) インナーケーブル
(B) プーリー
(C) ブラケット
(D) アウター受け
(E) スリット

注 意

インナーケーブルがプーリーのガイド部に正しく納まっていることを確認してください。

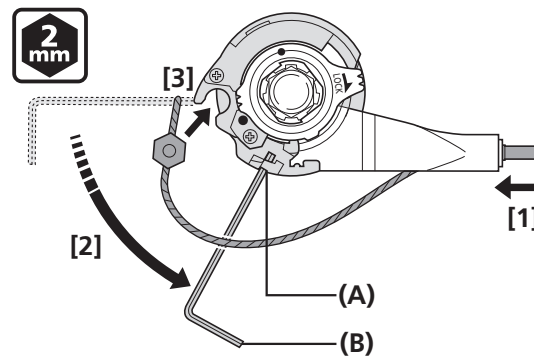


- (A) ガイド部

TECH TIPS

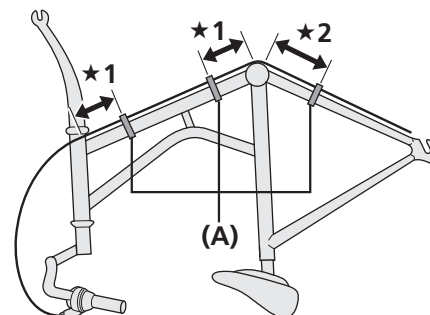
アウターケーシングをアウター受けに入れた方がやりやすい場合

アウターケーシングをアウター受けに入れます[1]。その後プーリーの穴に2 mm六角レンチまたは#14スポークを差し込んでプーリーを回し[2]、インナー取付けボルトユニットをプーリーの切欠き部に入れます[3]。



- (A) プーリーの穴
(B) 2 mm六角レンチまたは#14スポーク

7. 最後にケーブルをフレームにアウタークリップで固定します。

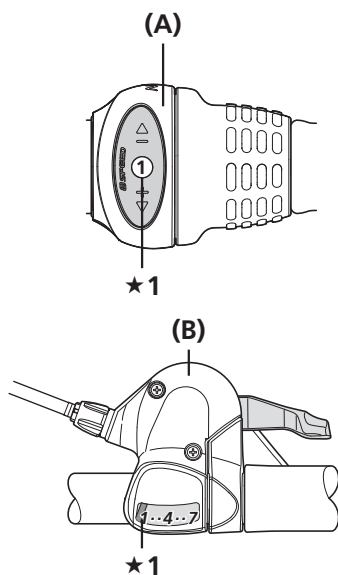


- ★1 10 cm
★2 15 cm

- (A) アウタークリップ

■ CJ-NX40/CJ-8S40の場合

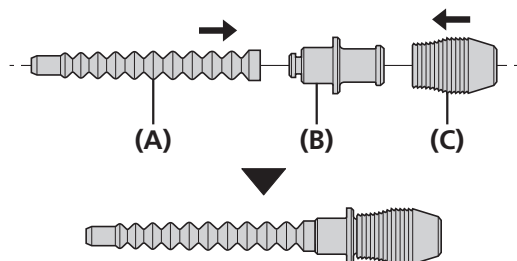
1. レボシフトレバー/シフティングレバーを1にセットします。



★1 1にセット

- (A) レボシフトレバー
(B) RAPIDFIRE Plus シフティングレバー

2. アウター受けに、ラバーカバーとラバーベローズを取付けます。



- (A) ラバーベローズ
(B) アウター受け
(C) ラバーカバー

3. インナーケーブルに付着しているグリスを拭き取ります。

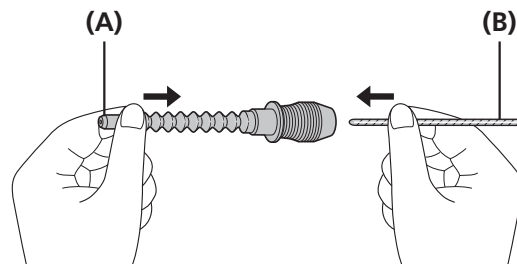
注 意

インナーケーブルの先端に注意

インナーケーブルは新しいものを使用し、先端をカットしたものは使用しないでください。



4. ラバーベローズの先端をもって、インナーケーブルを入れます。

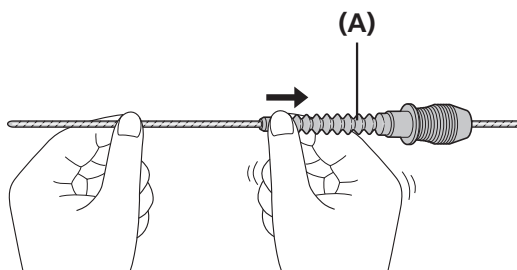


- (A) ラバーベローズの先端
(B) インナーケーブル

注 意

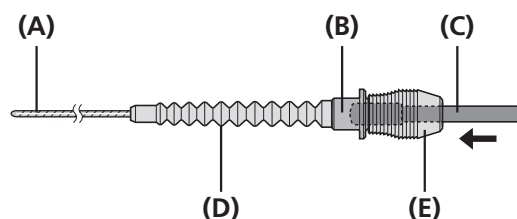
このとき、インナーケーブルの先端で、ラバーベローズを突き破らないように注意してください。

5. ラバーベローズをすべらせてセットします。



- (A) ラバーベローズ

6. アウターケーシングをラバーカバーへ挿入して、アウター受けにセットします。
アウターケーシングは、アウター受けの当りまで確実に押込んでください。



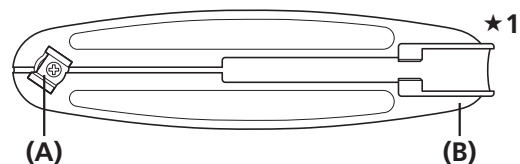
- (A) インナーケーブル
(B) アウター受け
(C) アウターケーシング
(D) ラバーベローズ
(E) ラバーカバー

7. アウターケーシングの端が、シフティングレバーのケーブル調整ボルトに確実に納まっていることを確認した後、インナーケーブルに、インナー取付けボルトユニットを取付けます。

インナー取付けボルトユニット取付けの際はセッティングツールTL-CJ40 (Y70898020) をご使用ください。

注 意

- TL-CJ40の製品出荷状態はCJ-NX10、CJ-8S20で使用する状態になっています。
- CJ-NX40、CJ-8S40の場合はTL-CJ40の裏側を使用します。イラストの通りナット固定金具を付け替えてください。

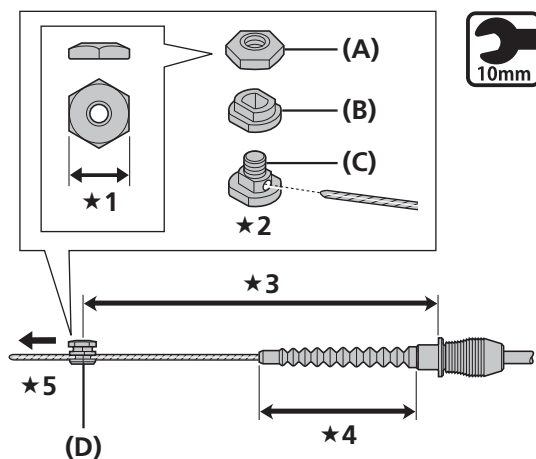


★1 裏面

(A) ナット固定金具

(B) TL-CJ40

- このインナー固定ボルトユニットは、CJ-NX10、CJ-NX40、CJ-8S20、CJ-8S40専用です。11段の取付けボルトユニットは使用できません。



★1 10 mm

★2 インナーケーブルを穴に通す。

★3 127 mm

★4 63 mm以下

★5 インナーケーブルを引張った状態で固定します。

(A) インナー固定ナット(黒色)

(B) インナー取付けワッシャー (シルバー)

(C) インナー取付けボルト (シルバー)

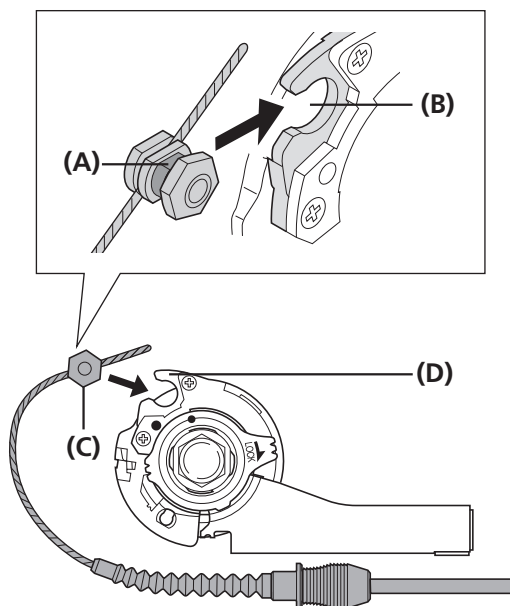
(D) インナー取付けボルトユニット

締付けトルク

10 mmスパナ

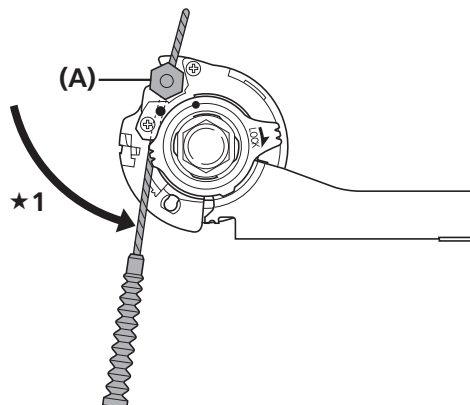
3.5 - 5.5 N・m

8. ケーブルをカセットジョイントのプーリーまで回し、インナー取付けナットを外側（フォークエンド側）に向け、プーリーの切欠き部に、インナー取付けワッシャーの二面幅部を入れます。



- (A) インナー取付けワッシャーの二面幅
(B) プーリーの切欠き部
(C) インナー取付けナット
(D) プーリー

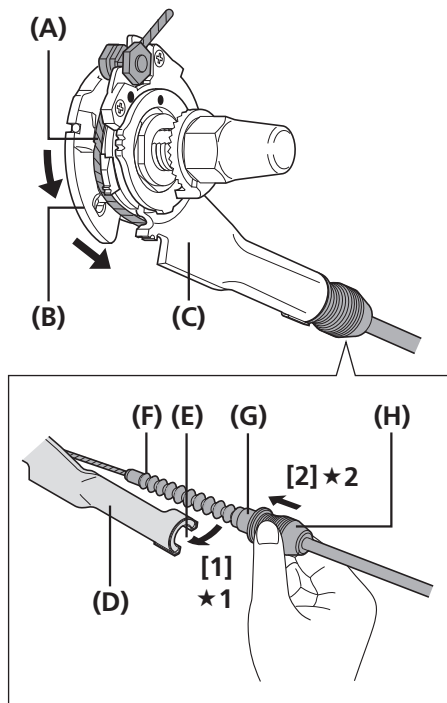
9. ケーブルを反時計方向に60°回して、フック部にセットします。



★1 ケーブルを60°回す

(A) フック部

10. インナーケーブルをプーリーに図のようにセットします。ラバーカバーを持って、カセットジョイントのブラケットのスリットに、インナーケーブルのラバーベローズ部を入れます (図中[1]参照)。次に、アウター受けをカセットジョイントのアウター受け部に確実にセットします (図中[2]参照)。このとき、ラバーベローズを傷つけないよう注意してください。



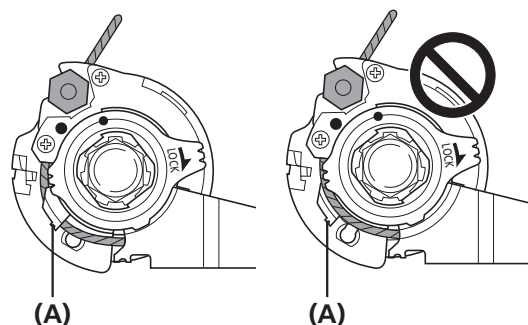
★1 スリットにラバーベローズを入れる

★2 アウター受けをセットする

- (A) インナーケーブル
- (B) プーリー
- (C) ブラケット
- (D) アウター受け部
- (E) スリット
- (F) ラバーベローズ
- (G) アウター受け
- (H) ラバーカバー

注意

インナーケーブルがプーリーのガイド部に正しく納まっていることを確認してください。

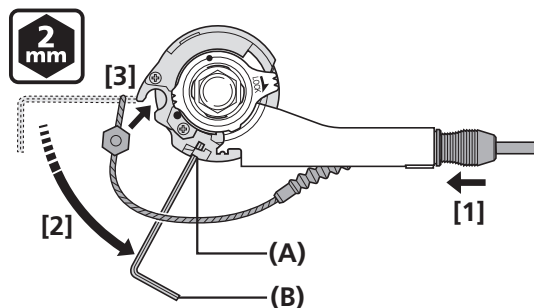


(A) ガイド部

TECH TIPS

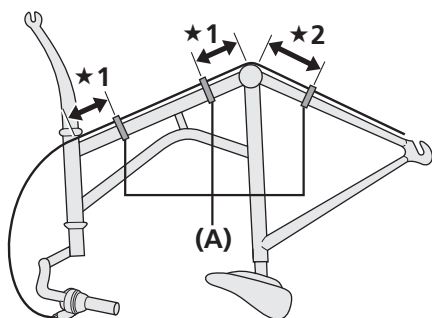
アウター受けをカセットジョイントのアウター受け部に入れた方がやり易い場合

アウター受けをカセットジョイントのアウター受け部に入れます[1]。その後、プーリーの穴に2 mm六角レンチまたは#14スポークを差し込んでプーリーを回し[2]、インナー取付けボルトユニットをプーリーの切欠き部に入れます[3]。



- (A) プーリーの穴
- (B) 2 mm六角レンチまたは#14スポーク

11. 最後にケーブルをフレームにアウタークリップで固定します。



★1 10 cm

★2 15 cm

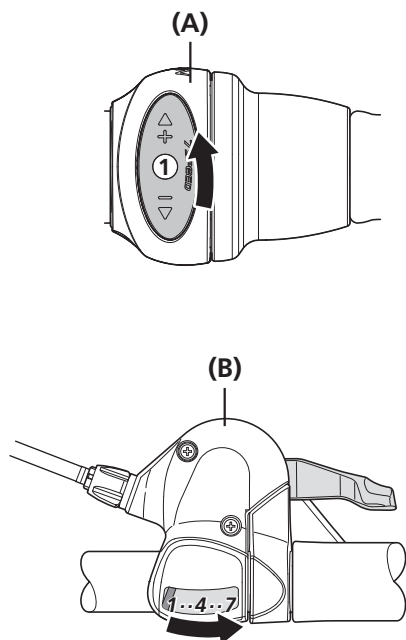
(A) アウタークリップ

調整

調整

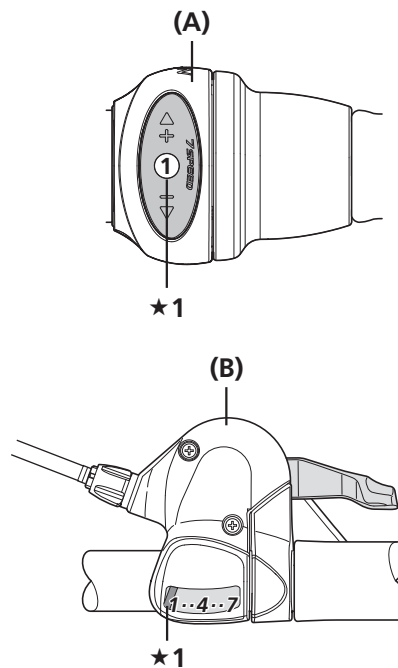
カセットジョイントの調整方法

1. 変速用ケーブルを慣らすために、レボシフトレバー/シフティングレバーをロー位置からトップ位置へ変速する操作を数回行います。



(A) レボシフトレバー
(B) RAPIDFIRE Plus シフティングレバー

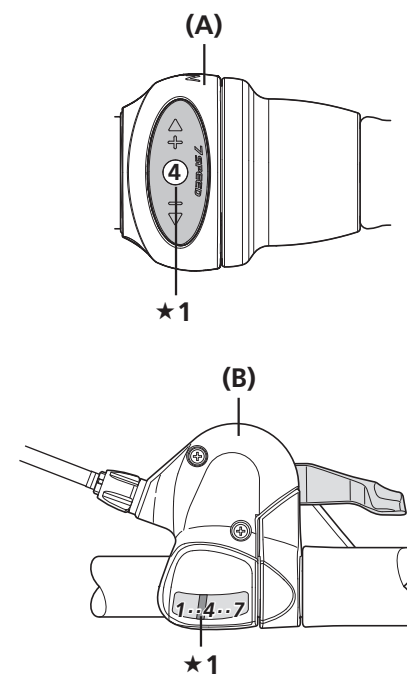
2. レボシフトレバー/シフティングレバーを1にセットします。



★1 1にセット

(A) レボシフトレバー
(B) RAPIDFIRE Plus シフティングレバー

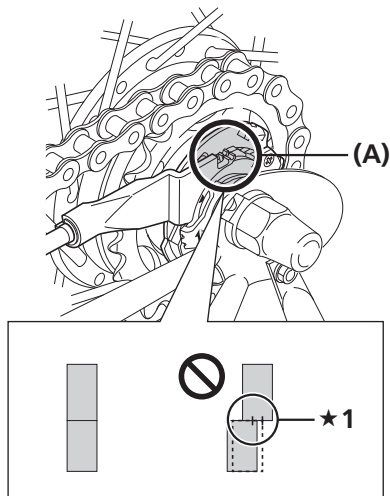
3. レボシフトレバー/シフティングレバーを図のようにセットします。



★1 7段/8段ハブ：4にセット
5段ハブ：3にセット

(A) レボシフトレバー
(B) RAPIDFIRE Plus シフティングレバー

4. カセットジョイントのブラケットと、プーリーのセットライン (黄色) が一致していることを確認してください。重なりが2/3以下の場合、ペダル踏み込み時にギアが上手く噛み合わず、異音やペダルが滑るような現象が発生する可能性があります。



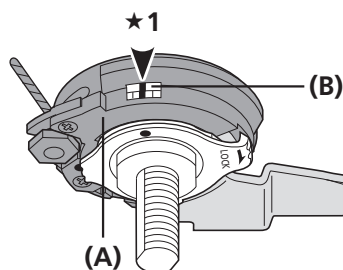
★1 セットラインの重なりが2/3以下

(A) セットライン (黄色)

TECH TIPS

カセットジョイントのセットライン (黄色) は、上部と下部の2ヶ所にあります。見やすい方をご利用ください。

自転車を正立させた時

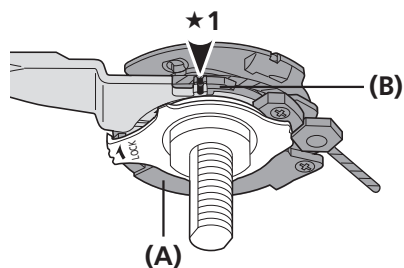


★1 一直線

(A) ブラケット

(B) プーリー

自転車を倒立させた時



★1 一直線

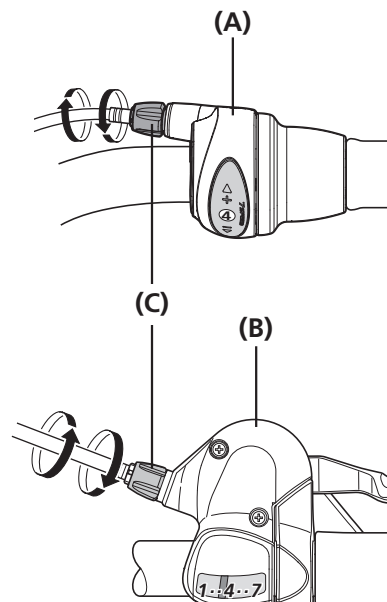
(A) ブラケット

(B) プーリー

TECH TIPS

セットライン (黄色) が一致していない場合

レボシフトレバー/シフティングレバーのケーブル調整ボルトを回して、セットラインを合わせてください。その後、レボシフトレバー/シフティングレバーをもう一度X→Yへ、そしてY→Xに動かして、セットライン (黄色) が一致していることを再度確認してください。



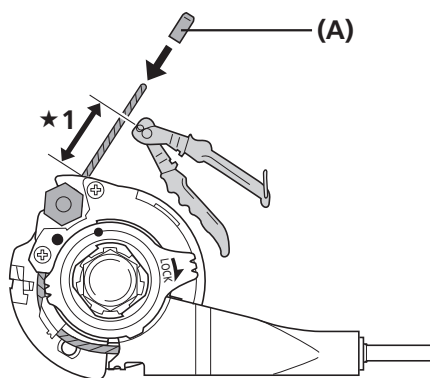
(A) レボシフトレバー

(B) シフティングレバー

(C) ケーブル調整ボルト

	X	Y
8 段	4	1
7 段	4	1
5 段	3	1

5. カセットジョイントの調整後、余分なインナーケーブルを切断します。その後、インナーエンドキャップを取付けます。



★1 15~20 mm

(A) インナーエンドキャップ

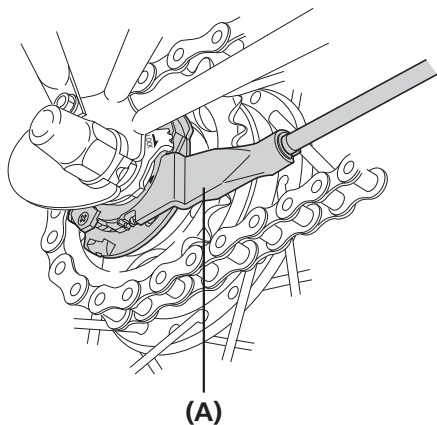
メンテナンス

メンテナンス

フレームから後車輪を取外すときの変速用ケーブルのはずし方

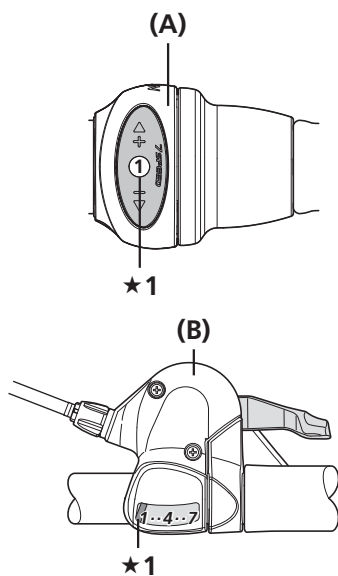
■ CJ-NX10/CJ-8S20の場合

フレームから後車輪を取外すときには、カセットジョイントからケーブルを取外してください。



(A) カセットジョイント

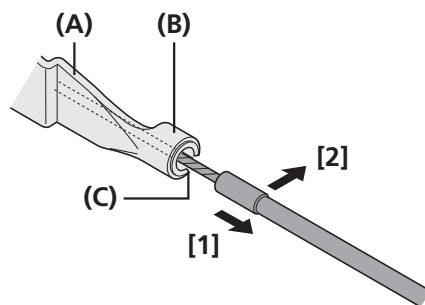
1. レボシフトレバー/シフティングレバーを1にセットします。



★1 1にセット

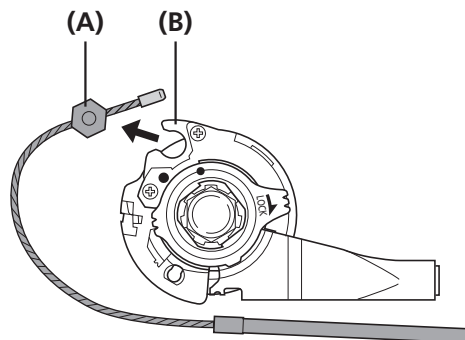
(A) レボシフトレバー
(B) RAPIDFIRE Plus シフティングレバー

2. カセットジョイントの OUTER 受けから OUTER ケーシングを引き抜き、ブラケットのスリットから INNER ケーブルを取外します。



(A) ブラケット
(B) OUTER 受け
(C) スリット

3. カセットジョイントのプーリーから、インナー取付けボルトユニットを外します。



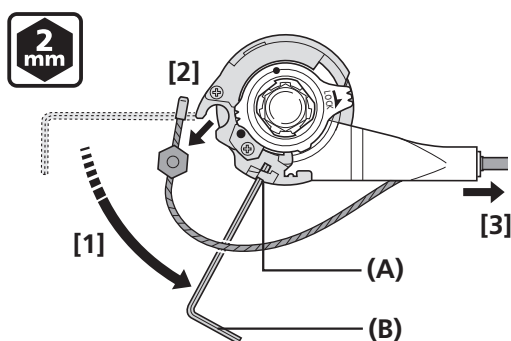
(A) インナー取付けボルトユニット
(B) カセットジョイントのプーリー

TECH TIPS

カセットジョイントの OUTER 受けから、OUTER ケーシングを引き抜きにくい場合

カセットジョイントのプーリーの穴に、2 mm 六角レンチまたは #14 スポークを差し込み、プーリーを回してインナーケーブルをたるませます[1]。

先にプーリーからインナー取付けボルトユニットを外し[2]、その後 OUTER 受けから OUTER ケーシングを引き抜きます[3]。

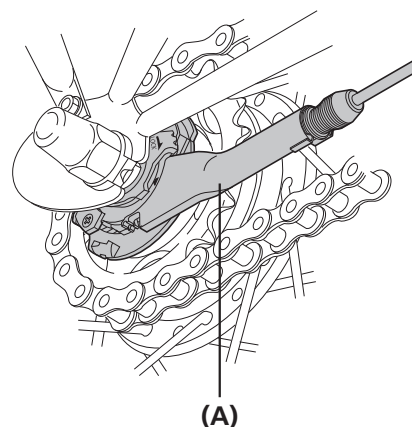


(A) プーリーの穴
(B) 2 mm 六角レンチまたは #14 スポーク

* 再度ケーブルを取付ける場合は、「変速用ケーブルの取付け」の項目を参照してください。

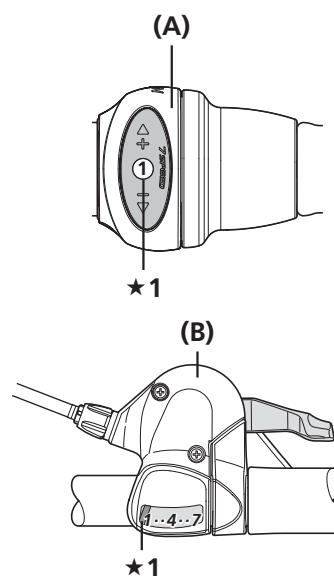
■ CJ-NX40/CJ-8S40の場合

フレームから後車輪を外すときには、カセットジョイントからケーブルを外してください。



(A) カセットジョイント

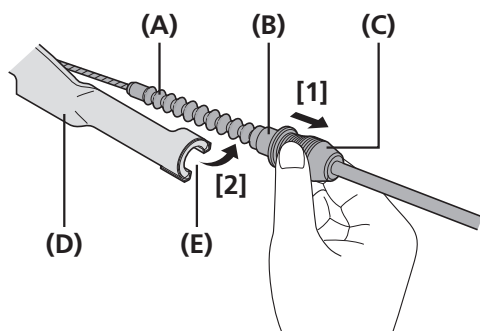
1. レボシフトレバー/シフティングレバーを1にセットします。



★1 1にセット

(A) レボシフトレバー
(B) RAPIDFIRE Plus シフティングレバー

2. ラバーカバーを持って、カセットジョイントの OUTER 受け部から OUTER 受けを引き抜きます[1]。
 ブラケットのスリットから、ラバーベローズがセットされている INNER ケーブルを取外します[2]。
 このとき、ラバーベローズを傷つけないよう注意してください。

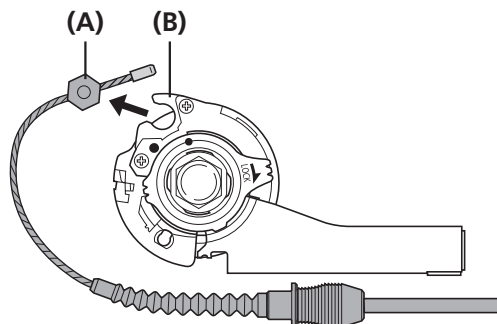


- (A) ラバーベローズ
 (B) OUTER 受け
 (C) ラバーカバー
 (D) OUTER 受け部
 (E) スリット

注 意

OUTER ケーシングを引張って、ケーブルを引き抜かないでください。

3. カセットジョイントのプーリーから、INNER 取付けボルトユニットを取外します。



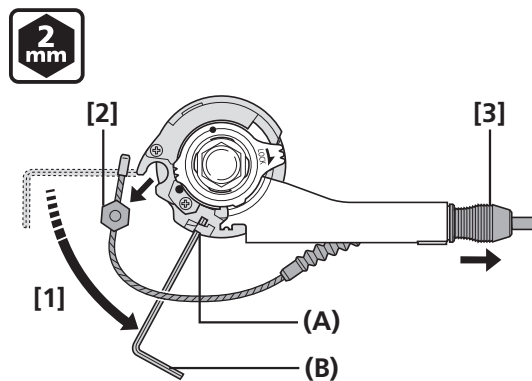
- (A) INNER 取付けボルトユニット
 (B) カセットジョイントのプーリー

TECH TIPS

カセットジョイントの OUTER 受け部から、OUTER 受けを引き抜きにくい場合

カセットジョイントのプーリーの穴に、2 mm 六角レンチまたは #14 スポークを差し込み、プーリーを回して INNER ケーブルをたるませます[1]。

先にプーリーから INNER 取付けボルトユニットを取外し[2]、その後、OUTER 受け部から OUTER 受けを引き抜きます[3]。

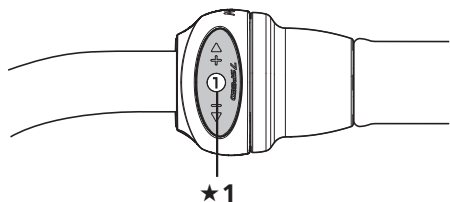


- (A) プーリーの穴
 (B) 2 mm 六角レンチまたは #14 スポーク

インナーケーブルの交換

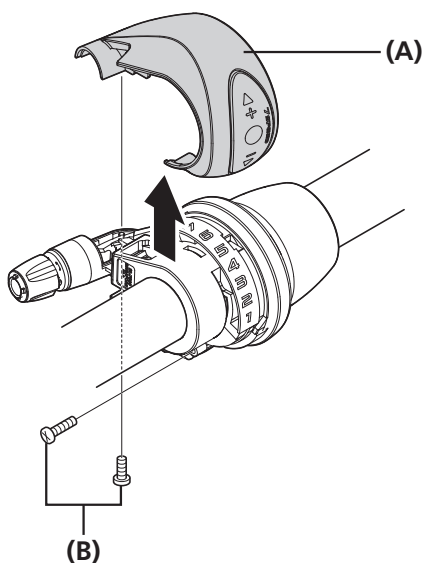
■レボシフトレバー

1. レボシフトレバーを1にセットします。



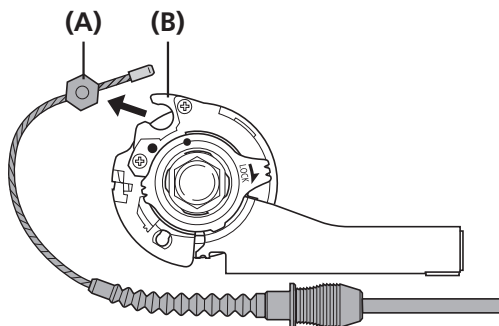
★1 1にセット

2. カバー取付けネジをゆるめ、カバーを取外します。



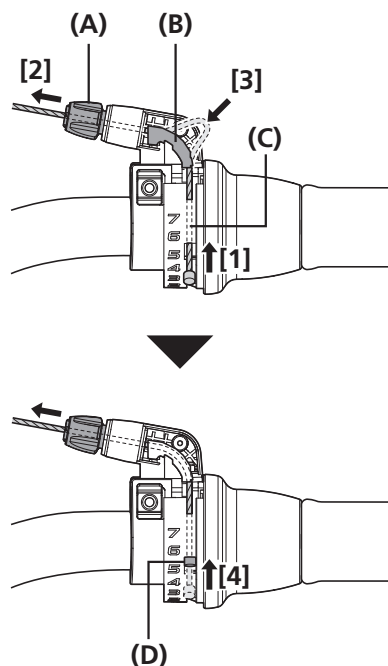
(A) カバー
(B) カバー取付けネジ

3. カセットジョイントのプーリーから、インナー取付けボルトユニットを取外します。



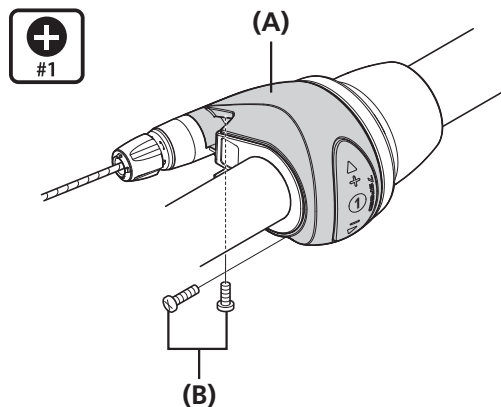
(A) インナー取付けボルトユニット
(B) カセットジョイントのプーリー

4. インナーケーブルを巻取り体の穴から、ケーブル調整ボルトの穴に通します。その後、インナーケーブルをケーブルガイドの溝に沿わせます。次にインナーケーブルを引っ張り、インナーケーブルのタイコを巻取り体の凹部に入れます。



(A) ケーブル調整ボルトの穴
(B) ケーブルガイドの溝
(C) 巻取り体の穴
(D) 巻取り体の凹部

5. カバーをカバー取付けネジで固定します。



(A) カバー
(B) カバー取付けネジ

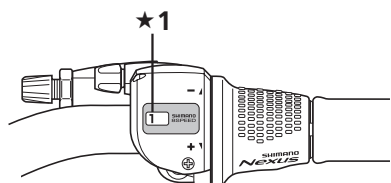
締付けトルク

プラスドライバー[#1]

0.1 - 0.2 N·m

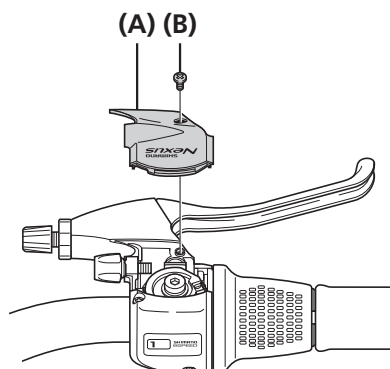
SB-8S20-Aの場合

1. レボシフトレバーを1にセットします。



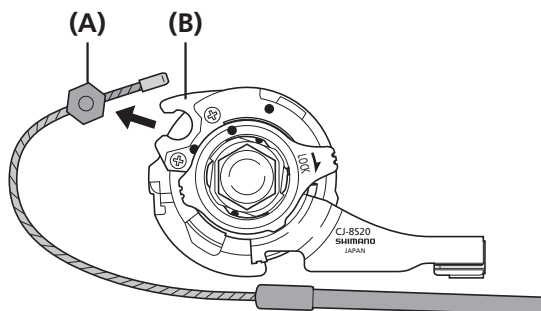
★1 1にセット

2. カバー取付けネジをゆるめ、カバーを取外します。



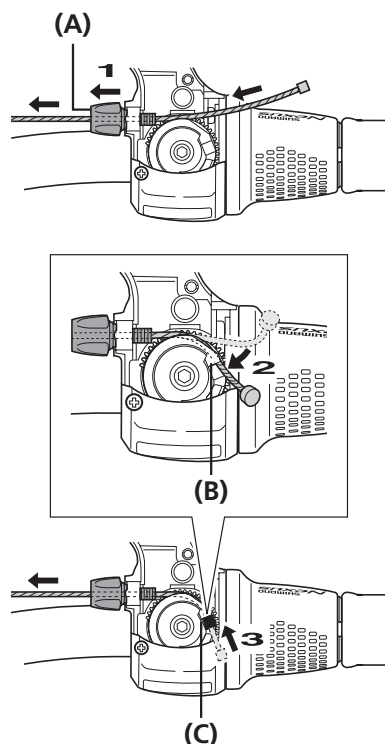
(A) カバー
(B) カバー取付けネジ

3. カセットジョイントのプーリーから、インナー取付けボルトユニットを取外します。



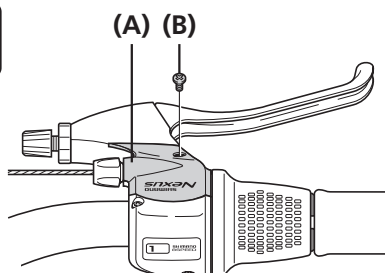
(A) インナー取付けボルトユニット
(B) カセットジョイントのプーリー

4. インナーケーブルをケーブル調整ボルトの穴に通します。次に、インナーケーブルをプーリーの溝に引掛け、インナーケーブルを引張り、インナーケーブルのタイコをプーリーの凹部に入れます。



(A) ケーブル調整ボルトの穴
(B) プーリーの溝
(C) プーリーの凹部

5. カバーをカバー取付けネジで固定します。



(A) カバー
(B) カバー取付けネジ

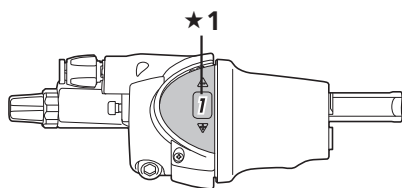
締付けトルク

プラスドライバー[#1]

0.2 - 0.4 N·m

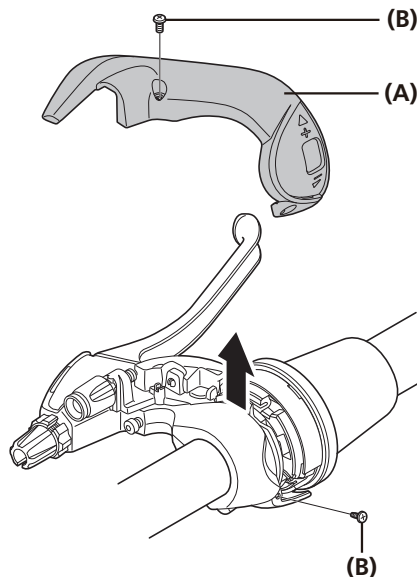
SB-C3000-7の場合

1. レボシフトレバーを1にセットします。



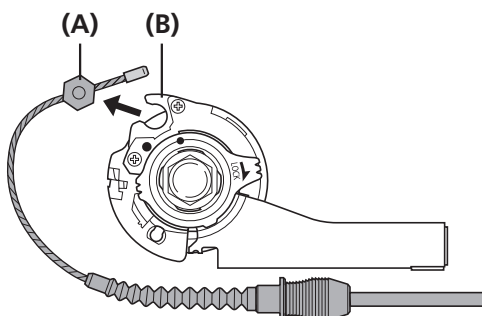
★1 1にセット

2. カバー取付けネジをゆるめ、カバーを取外します。



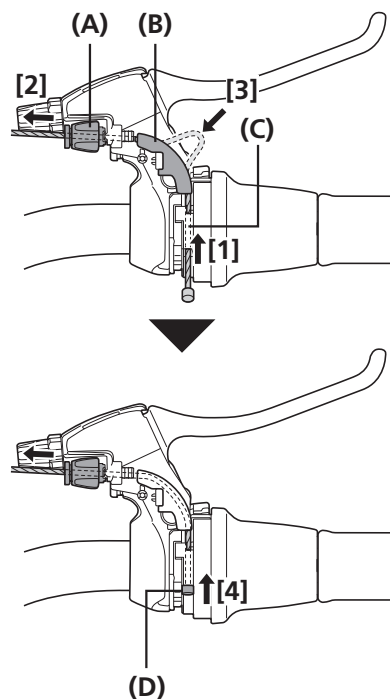
(A) カバー
(B) カバー取付けネジ

3. カセットジョイントのプーリーから、インナー固定ボルトユニットを取外します。



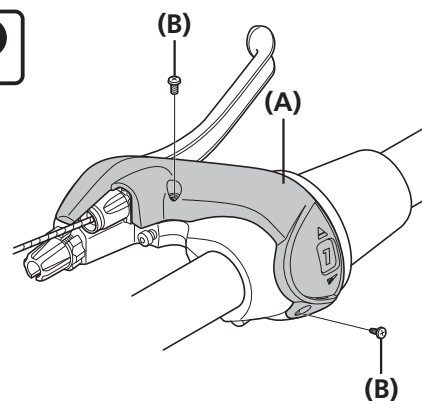
(A) インナー固定ボルトユニット
(B) カセットジョイントのプーリー

4. インナーケーブルを巻取り体の穴から、ケーブル調整ボルトの穴に通します。その後、インナーケーブルをケーブルガイドの溝に沿わせませす。次にインナーケーブルを引張り、インナーケーブルのタイコを巻取り体の凹部に入れます。



(A) ケーブル調整ボルトの穴
(B) ケーブルガイドの溝
(C) 巻取り体の穴
(D) 巻取り体の凹

5. カバーをカバー取付けネジで固定します。



(A) カバー
(B) カバー取付けネジ

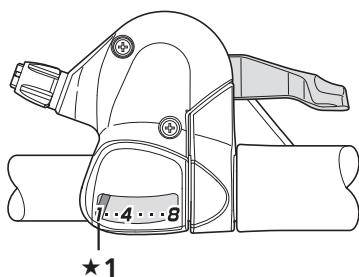
締め付けトルク

プラスドライバー[#1]

0.1 - 0.2 N·m

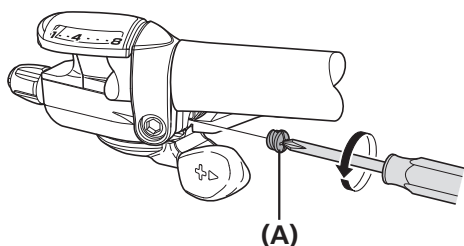
■ RAPIDFIRE Plus シフティングレバー

1. シフティングレバーを1にセットします。



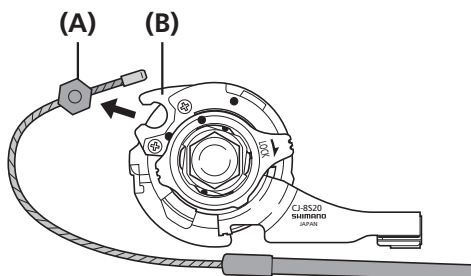
★1 1にセット

2. インナータイコ穴キャップをゆるめ取外します。



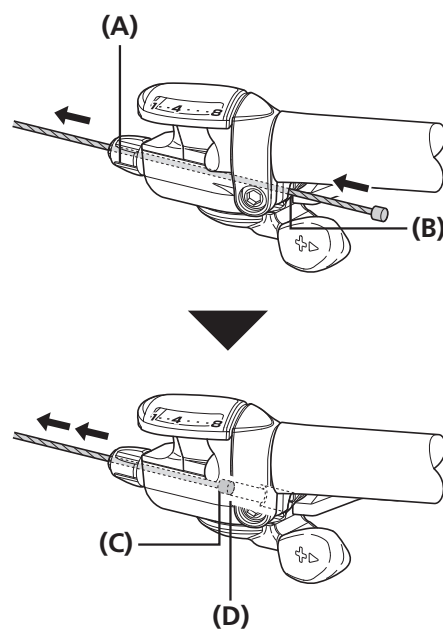
(A) インナータイコ穴キャップ

3. カセットジョイントのプーリーから、インナー取付けボルトユニットを取外します。



(A) インナー取付けボルトユニット
(B) カセットジョイントのプーリー

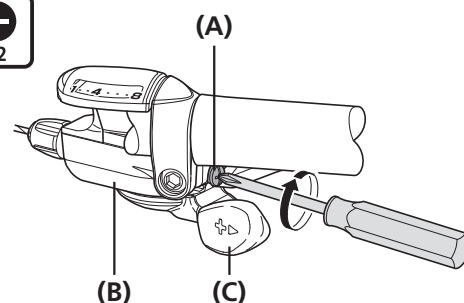
4. インナーケーブルを巻取り体の溝に入れ、ケーブル調整ボルトの穴に通します。次にインナーケーブルを引張り、インナーケーブルのタイコを巻取り体の凹部に入れます。



(A) ケーブル調整ボルトの穴
(B) 巻取り体の溝
(C) インナーケーブルのタイコ
(D) 巻取り体の凹部

5. インナータイコ穴キャップを図のように止まるまで回して取付けます。これ以上回すと、カバーのネジ溝を破損します。

またユニットカバーの変形により、ユニットカバーとレバーAが干渉し、レバーAの動作不良を起こすおそれがあります。レバーAの戻りが悪い場合は、インナータイコ穴キャップを少し緩め、レバーAとユニットカバーの間にすき間をつくり、戻りが良くなることを確認してください。



(A) インナータイコ穴キャップ
(B) ユニットカバー
(C) レバーA

締付けトルク

プラスドライバー[#2]

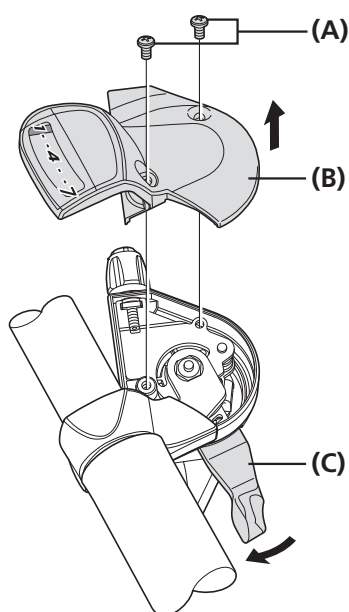
0.3 - 0.5 N・m

インジケーターユニットの交換と組立

■ 取外し

分解および組立は、インジケーターユニットの取外しまたは交換時だけ行ってください。

1. レバーBを操作して1にセットします。
2. インジケーターユニットを固定しているカバー取付けボルト (2本) をゆるめ取外します。
3. インジケーターユニットを図のように取外します。

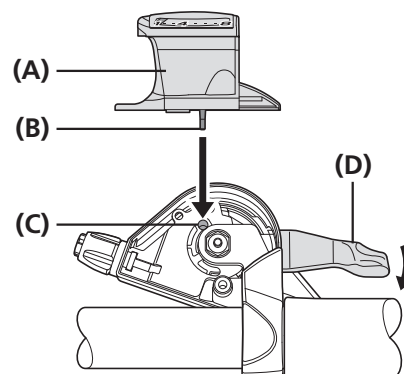


- (A) カバー取付けボルト
(B) インジケーターユニット
(C) レバーB

■ 取付け

分解および組立は、インジケーターユニットの取外しまたは交換時だけ行ってください。

1. インジケーターの指針が左側 (1の位置) にあることを確認して、インジケーターユニットを真上から取付けます。このとき、インジケーターユニットの下部から出ているピン板の軸を巻取り体の穴 (1の位置) に入れます。



- (A) インジケーターユニット
(B) ピン板の軸
(C) 巻取り体の穴 (1の位置)
(D) レバーB

2. インジケーターユニットをカバー取付けボルト (2本) で固定します。

締付けトルク

プラスドライバー [#2]

0.3 - 0.5 N·m

3. レバーAとレバーBを操作し、動作の確認をしてください。もし正しく動作しない場合は、上記の **1** に注意して再度取付けてください。

注 意

インジケーターユニットおよびシフティングレバーユニットの分解はしないでください。故障の原因になります。

内部一式ユニットのオイルメンテナンス

製品の性能を維持するために、使用開始から1年間に一度（頻繁に乗車される場合は2,000 kmごと）を目安に、販売店または代理店で、内部のグリスアップなどのメンテナンスを推奨します。厳しい使用条件下で乗車する場合も、より頻繁なメンテナンスが必要になります。またメンテナンスの際は、シマノ内装ハブ専用グリスまたは、オイルキットを推奨します。専用グリス・オイルキットを使用されない場合、変速機が正常に作動しないなどのトラブルの原因となる可能性があります。



(A)

(A) WBメンテナンスオイルセット (Y00298010)

1. メンテナンスオイルを容器に95 mmの高さまで入れます。



★1 95 mm

2. 図のように内部ユニットを左側からリングギアユニット1までオイルに浸します。



★1 リングギアユニット1

3. 約90秒間、内部ユニットをオイルに浸します。



4. 内部ユニットを取出します。



5. 約60秒間、余分なオイルをきります。



6. その後、ハブを組立てます。





製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社 シマノ

〒590-8577 堺市堺区老松町3丁77番地